

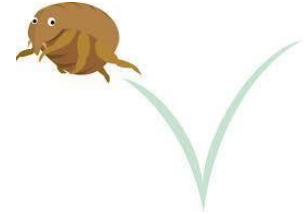
# 🐾 皮膚のトラブルを防ごう！ 🐾

## <夏に皮膚病が多くなる理由>

夏は高温多湿なので、カビや細菌、ノミ・ダニが繁殖してしまいます。

## <夏に発症しやすい主な皮膚病>

- 膿皮症
- ノミアレルギー



### ○膿皮症○

膿皮症とは、皮膚が化膿してしまう病気の総称です。  
細菌が皮膚に感染することで発症します。

【原因】不衛生な環境、擦り傷や噛み傷、老化や  
栄養不良による免疫力の低下

【症状】主に、発赤、脱毛、かさぶた  
発疹(ブツブツ)、膿疱、

【部位】顔、脇、内股、指の間



## <予防>

\* 部屋の換気・除湿 \* マメな洗濯・掃除 \* 栄養のある食事 \* ストレス発散

### \* ブラッシング

余分な毛を取り除き、通気性を良くしましょう。

### \* シャンプー

シャンプー後の生乾きは雑菌が繁殖してしまいます。  
(※ただし、ドライヤーによる熱中症に気を付けて下さい。)

### \* 散歩後の足拭き

洗った場合は、指の間は良く乾かしましょう。

### \* 顔のしわ・口周りのお手入れ

フレンチブルドッグ・パグなどの顔のしわは蒸れやすいので、こまめに拭きましょう。





こちらのページでは「<sup>じけっしゅ</sup>耳血腫」についてのお話をします。

## ？耳血腫ってなに？

耳介(耳たぶ)は、皮膚と軟骨で作られています。耳を強く掻いたり、頭を振ったりして、耳の中の血管から出血し、皮膚の内側に血液が溜まってしまう状態を耳血腫といいます。犬・猫どちらにもみられます。

『耳が腫れているんです』『触るとぷよぷよしてるんです』とあって来院されることが多いです。垂れ耳・立ち耳どちらでも起こります。

## 原因

耳に衝撃を受けて起こることもありますが、多くは耳の病気によるものです。そのため、**原因となる耳の病気の治療も平行して行う必要があります。**

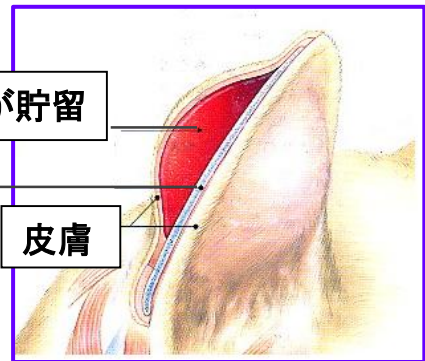


慢性的な炎症(外耳炎など)  
外部寄生虫(ダニなど)  
アレルギー等の皮膚炎  
など

ここに血液が貯留

耳の軟骨

皮膚



## ？どうやって治していくの？

### ① 外科治療

耳介を何ヶ所か切開して、血液が溜まる空間ができないように縫合する方法です。その後、包帯で耳を圧迫して固定します。血液や漿液しょうえきが出なくなるまで包帯の交換・巻きなおしに通院する必要があります。

### ② 内科治療

溜まった血液は抜かず、インターフェロンという薬を耳血腫内に注入する方法です。こちら、状態に応じて5日～7日に1回くらいの頻度で数回の通院が必要です。



耳血腫自体の痛みはあまりないようですが、放っておくと耳の形が変形してしまうこともあります！！

おかしいと思ったら早めに病院へ行って、原因となった病気があれば、そちらも一緒に治療しましょう。